

会議次第	1	開会
	2	挨拶
	3	第2回会議内容の確認
	4	学校評価アンケート結果について
	5	授業参観
	6	熟議「令和7年度の活動計画について」 「家庭教育学級のモデル事業について」
	7	閉会

<審議内容>

1 開会

中嶋会長：ただ今から、令和6年度 第3回 荃崎学園コミュニティ・スクール協議会を開会します。なお、この会議に関しては、「つくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例第3条」に基づき、本日の会議は公開とします。また、会議録については後日、教育委員会のHPに公開します。また、本日の会議の写真も公開する予定となっています。写真の公開について、差し支える場合は事務局へ申し出てください。

2 挨拶

中嶋会長：始めに、学園長挨拶。高野学園長お願いします。

高野学園長：おはようございます。荃崎中学校の高野と申します。よろしくお願ひいたします。日頃から学園の教育活動に御理解御協力いただきありがとうございます。おかげさまで荃崎学園3つの小中学校の子どもたちは元気に毎日学校に通っています。ひとえに皆様の御協力があったからだと思っております。本当に感謝申し上げます。少しだけ本学園の子どもたちの様子をお話しさせていただきたいと思います。1回目には学園の組織目標をお話しさせていただきました。3つの柱があります。1つは学力向上、2つ目は互いを認め合う自己肯定感の向上、3つ目は地域と共にある学園づくりです。これらを推進しています。学力向上に関しては、小中学校でICTを活用した授業ということで、最近は子どもたちもタブレット端末の扱いが上手になってきました。その中でも探究的な学びとか思考力表現力をつける工夫など、我々教職員も日々工夫、改善をしているところです。子どもたちの表現力も少しずつついてきたのではないかと思います。1月の県の学力診断のためのテストでは、7年生8年生は昨年より少しずつポイントが上がってきて、学力が向上してきた結果が出てきています。算数・数学も上がってきて、小学校からの積み重ねが大きかったと分析しています。2つ目の自己肯定感を高めるところでは、あいさつに関しては、本校生徒すごく大きな返事で返してくれるようになっていきます。1月に生徒にアンケートを取ったところ「あいさつが

よくできる」という項目は89%になっています。黙働清掃に関しては83%で、ほとんどの生徒が黙々と一所懸命掃除をしています。3つ目の地域と共にある学園づくりでは、地域のボランティアに御協力いただいて、小学校では学習支援であったり、学校行事であったり、熱心に参加していただいて、本当にありがたく思っております。こういうボランティアや支援がなければ学校が成り立たない状況ですので、今後とも御協力をお願いいたします。本学園のコミュニティ・スクールの柱となる防災教育、2回目の開催の折には各小中学校の取組を発表させていただきました。本年度の反省をもとに来年度さらに活動を広げていけるように引き続きよろしくお願いいたします。

中嶋会長 : 続いて、私のほうからもあいさつということで、コミュニティ・スクール協議会は本日3回目です。1年間何をやってきたのか振り返ってみますと、推進会議から数えると2年目になります。コミュニティ・スクールをやってきて、学校にとっていいことがあるのか、子どもにとっていいことがあるのかなどと思いながら考えています。コミュニティ・スクールとは「地域と共に子どもを育てる仕組み」ということです。つくば市のコミュニティ・スクールには4つの機能・役割があります。一つ目は、学校運営の基本方針について承認すること。第1回目の会議で行ったことです。二つ目は、学校運営に意見を述べるができること。各学校からこういうことをやってきたという報告があつて、それに対していいよとかもう少しこういう風にしたらいんじゃないか、というような意見を言う場であること。これは第2回目に行いました。三つ目は、教職員の任用について意見を述べるができること。四つ目には、学校評価があります。今日の第3回の内容になります。これが協議会の4つの機能ですので、順番に第1回、2回と進んできているところです。また、熟議を通して共有することも大切です。最後に、地域と学校が連携した様々な活動「地域学校協働活動」があります。学園の場合には、地域愛と防災を地域と一緒に実践していきましょうという内容でここまでできました。今日は家庭教育学級について市から説明がありますが、これも地域学校協働活動の一つに入れてはどうかと提案がありますので、皆さんと考えていきたいと思えます。あいさつを兼ねながら振り返ってみました。コミュニティ・スクール協議会の意味も考えながら今日もよろしくお願いいたします。

3 第2回会議内容の確認

中嶋会長 : 本日は、荃崎学園の第3回CS協議会の熟議に入る前に、まずは第2回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをしたいと思います。この後、協議に入りますが、協議を進行するに当たり書記をお願いしたいのですが、前回は堤委員にお願いしましたが、

今回も堤委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

→ 承認

では、議事録の確認ということで、会議資料の第2回議事録を見てください。11月12日、第二小学校で行った前回の要点をまとめますと、学園の教育活動について荃崎二小・荃崎三小・荃崎中の教頭から報告がありました。質疑・応答および感想のあと授業参観をして熟議「地域と学校が連携した、これからの取組や役割について」～防災教育を中心に～というテーマで、今までの教育活動を踏まえて、今後の取組と令和7年度の教育活動の素案を熟議しました。各校から次のようなことが挙がりました。

【荃崎第二小学校】ウォークラリーでいろいろな課題が出た。地域には何かをしたいというエネルギーがあるので、学校から何がしてほしいかなどの情報発信が必要である。また、区長会へもコミュニティ・スクールへの協力を広げていくことが大切である。

【荃崎第三小学校】防災に関する情報が周知されておらず、水位計や雨量計の存在も知らないのではという意見があった。実際に設置されている水位計を見たり、ネットでリアルタイムの情報を見たりすることで子どもたちも興味をもつのではないかということ。また、少子高齢化のため、高齢者との交流も考えたいとの意見もあり、高齢者も巻き込んで学校に来てもらう案が出た。

【荃崎中学校】8年生で防災を行った。防災カルタを小学校へ伝えていきたいと考えている。テストとして実際に7年生には伝えることができた。9年生は空き缶拾いで得たお金を地域に使っていけないかと考えている。今後は除草作業なども地域を巻き込んでやっていく。

なお、詳しい内容に関しては、教育委員会のHPに掲載されていますので、御確認ください。

4 学校評価アンケート結果について

中嶋会長 : 続きまして、令和6年度の各学校の「学校評価アンケートの結果」について各校の教頭先生より御説明をお願いします。荃崎第二小学校・荃崎第三小学校・荃崎中学校の順をお願いします。

小倉教頭 : 二小の評価については、よく当てはまる、だいたい当てはまるを合わせると90%をこえる項目が多くあります。色のついた部分は、学園内で共通しているあいさつの項目、防災安全関係の項目、情報発信の項目です。細かく見ていくと5番、つくばスタイル科や外国語活動を通して社会力を身に付けているという項目が課題です。学校で学習したことを生活に生かすという視点で改善していきたいと思います。また9番あいさつでは、良くなってきているものの保護者としてはもっとしてほしいという気持ちがあるようなので継続していきます。10番夢や目標をもって生活しているという項目も保護者の方にとってはもっと頑張してほしいというこ

とです。地域の方でキャリア教育を通して目標をもてるような方策をとっていければと思います。最後に12番みんなの役に立っているという項目ですが、こちらは児童も保護者も課題が残っています。みんなの役に立っている自信がないのかもしれないので、教員だけでなく保護者の皆さんも含めて「ありがとう」という言葉を伝えながら、児童が自覚できるように取り組んでいきたいと思います。

堤教頭 : 三小です。まず12番「いじめ見逃しゼロ」については、保護者、児童とも評価が向上しており、毎月のアンケートや聞き取りなど児童の小さなSOSに学校全体で組織的に対応してきたことが功を奏してきています。次に5番「地域や保護者との連携」については、従来のPTA活動だけではなく、コミュニティ・スクールとしての活動が地域との連携につながっていると考えられます。また、6番「宿題や家庭学習への取組」、8番「あいさつ」については、第1回と比べて保護者の評価は向上していますが、児童の評価が前回より減少しているという項目で、学校での取組に改善の必要があります。最後に10番「自己肯定感」については、児童の評価が大きく下がった項目です。児童が認められる多様な場を設定する等、自己肯定感を高めるような教育活動場面を設定していくことが次年度の課題です。

金子教頭 : 学園として、「あいさつ」は良い結果が得られています。清掃活動については、子どもたちは黙働清掃について8割がよくやっていると答えていますが、保護者から見ると、家庭の手伝いをしてるかという項目では5～6割ぐらいとなっています。まだまだ地域を巻き込めていないのかなと感じています。15番、16番「防災」と「地域愛」についてもアンケートを取りました。防災については教育課程の中で取り組んでいるので子どもたちはよくやっていると回答していますが、地域の方や保護者にはまだまだつながっていないという結果になっています。学校としての課題としましては、3番、4番、5番、学習に関して、子どもたちは頑張っているが保護者の評価が低いという結果となっています。もう少し授業公開などをして、保護者も巻き込んでいく必要があると思います。また6番、7番では、中学生ならではですが、家で話をしないという結果が出ています。家庭学習に関してもまだ数値が低いと感じています。最後に10番のボランティア活動の意識が5割6割程度なので、来年の課題としてグランドデザインに反映させていきたいと思います。以上です。

中嶋会長 : 続きまして、先ほど発表のあった学校評価の結果を踏まえ、各校で話し合いをしていただきます。その結果から見られる課題や、各校の教育目標（グランドデザイン）に記載されている内容に沿って御意見や御質問をいただきたいと思います。次に授業参観も控

えていますので、短いお時間となりますが御了承をお願いします。
併せて、全体での共有は控えさせていただきます。

5 授業参観

6 熟議

中嶋会長 : 続いて、熟議に移りたいと思います。熟議を進行するに当たり、ファシリテーターを荃崎中学校の金子教頭先生にお願いしたいと思います。皆さんよろしいでしょうか。では、金子教頭先生よろしくお願ひいたします。

金子教頭 : 熟議のテーマ及び進行について説明します。第2回の会議で熟議された令和7年度の教育活動の素案をもとに、学校ごとに来年度の計画を立てていきます。

① 学園全体での協議会は年3回とします。

第1回 5月8日(木) : 荃崎中学校

- ・グランドデザインについて
- ・年間活動計画について

第2回 11月12日(水) : 荃崎第二小学校

- ・各学校での活動報告
- ・次年度に向けての素案作り

第3回 2月13日(金)

- ・学校評価について
- ・令和8年度の教育計画について

② 来年度は各学校ごとに集まりを計画して、活動する。

- ・1回は協議会として参集でき、報酬及び費用弁償が発生します。
- ・そのほかに集まる場合は、報酬及び費用弁償は発生しません。

③ 防災・地域愛を柱に、各取組を熟議する。

中嶋会長 : ありがとうございます。今の説明をもとにしまして、約1時間ですけども、熟議の方を学校ごとにお願ひしたいと思います。

・各グループでの熟議

金子教頭 : 各グループで話し合ったことを共有します。二小から順にお願ひします。

宮本教務 : 今年度、ウォークラリーを行いました。次年度は早めに役割分担やねらいを固めて、地域の方々や保護者の方を巻き込んでいく方向で計画しています。学校の子どもたちの学びをサポートするために地域の方々の協力をいただけないかということで環境整備ボランティアや学習ボランティアを立ち上げたらどうかという話がありました。実現に向けて具体的にこれからどうすればよいか考えていきたいと思っています。

小関教務 : 一つ目は防災です。今年度あまりはっきりした活動ができなかった反省を踏まえて、来年度は講師の先生をお呼びして防災につい

での知識や意識を高めたうえで、自分たちで深めていったものを発信するといった形でできるといいのではないかという意見ができました。二つ目は、今年度4年生で行った昔の遊び体験は森の里自治会との交流を中心に行ったのですが、こちらは来年も継続してできればというところです。加えて来年は、公会堂に言って体験するばかりではなく、森の里自治会の方々に学校に来ていただいてやり取りができるといいという意見も出ました。三つ目が草刈りボランティアです。毎月1回森の里自治会の方に来ていただいて行いました。こちらも継続していければと考えています。以上です。

金子教頭 : コミュニティ・スクールの協議員が30名。まずは組織をきちんと作りたいと考えました。学校から、PTAから、地域から三者が集まる組織です。今までPTAで行ってきた草刈りなど環境関係や立哨関係がうまく回らない状況が出てきています。このあたりをコミュニティ・スクールの協議員で話し合っとうにかできないかというような話合いの場を設けていきたいと思ひます。それから、学校の教育活動としては学習支援です。主につくスタになりますが、合唱コンクールの審査員とか調理実習のお手伝い等のボランティアのチームを作りたいという話になりました。以上です。

中嶋会長 : ありがとうございます。3校から来年度の方向性が出ました。これで熟議は終わりですが、その他として家庭教育学級のモデル校事業について説明をいただいて意見交換ができればと思ひますのでお願いします。

山口参事 : 少しお時間をいただいて、家庭教育学級のモデル校事業について説明をさせていただきます。このモデル校事業は来年度、市内では荃崎学園、高崎学園、洞峰学園、竹園学園の4学園でお願いしたいと思っております。現在、今日のような会議の中では目指す学園の子ども像に向かって学校や地域、保護者の方ができることを連携していろいろなことに取り組んでいこうと方向性をお話しいただいているところであります。その中で徐々に生まれてくる地域学校協働活動というものが各地域の実態に忠じて様々考えられたり、実践されたりしてきているところです。文部科学省ではこのような協働活動の一つに家庭教育の支援というものを提示しています。そういった中で、各学校においては、家庭教育学級を実施していただいています。今回、学園単位で子どもたちを見守り、さらなる成長を支援していくというコミュニティ・スクールの中で、子どもたちの保護者による親の学びの場である家庭教育学級を行うことが可能ではないかと考え、このようなモデル校事業を提案させていただいております。お手元に資料があるかと思ひます。4枚つづりになっておりまして、1枚目はモデル校事業のポイントや流れの図です。その裏からの2ページ目3ページ目は、アン

ケートを取りたいと思っております、その項目になります。3枚目につきましては、各学園学校の皆様にこういった事業をやらせていただきたいというお知らせの案になります。4枚目につきましては、今回のモデル校事業の中では、コミュニティ・スクールの中で、地域学校協働活動推進員という方がいらっしゃる、その方に御協力いただきたく、その方がどのように活動していただけるとこの1年間でモデル校事業が動いていくのか見通しをもっといただけるよう参考としてつけさせていただきました。1ページ目を御覧いただきたいと思いますが、流れとしましては、保護者の皆様から家庭教育の中で学びたいテーマについて、アンケートをとらせていただきたいと思っております。そちらを基にしまして、大まかなアンケートの結果を来年度のコミュニティ・スクール協議会の中で提示をする時間をいただき、そこでどういった方向の家庭教育学級で、どんな学びができるのか相談させていただくような形にしたいと思っております。そこでいただいた御意見を含めて、家庭教育学級でどのようなことを行うかというのを詰めるためにコミュニティ・スクール協議会の中に部会というものを設置していただきたいと考えております。こちらでは「家庭教育部会」という名前を付けさせていただきます。実は、コミュニティ・スクールでこのような部会を設置する時には、協議会の皆様の承認が必要となりますので、この後会長のほうから承認の可否などについてのお話をいただければと思っております。このような家庭教育学級を行っていく際に、市では社会教育指導員がおり、これまでも家庭教育学級の実施のサポートをさせていただきます。今回のモデル校事業でも、この社会教育指導員がサポートに入りながら、学園全体としての家庭教育学級の実施ができたという風に考えております。モデル校事業についての大まかな内容は以上となりますが、なにか御質問等ございましたらお願いしたいと思います。

中嶋会長 : 今、御説明があったのですけれども、御質問御意見等ありましたらお願いします。

特にないようでしたら、今後、家庭教育部会による活動ができるよう委員の皆様には、部会の設置についての御承認をいただけますでしょうか。

→承認

それでは、今後、地域学校協働活動推進員の協力をいただき、進めさせていただきたいと思っております。今回、地域学校協働活動推進員の金井恵美さんと飯塚康弘さんの御協力をいただきたいのですが、よろしいでしょうか。

→承認

ありがとうございます。学校と連携しながら進めさせていただきたい

と思います。生涯学習推進課の村上さんから、アンケートについて説明があります。

事務局 : 荃崎学園のコミュニティ・スクール協議会に参加させていただきまして、防災、地域愛を軸にお話をさせていただきましてありがとうございました。7月には荃崎中学校にお伺いさせていただいて、金井さんに地域学校協働活動推進員という立場で防災士の水谷さんに講師をお願いして授業を行っていただきました。子どもたちの表情を見ていると本当によかったなと思います。ここで話し合ったことが、子どもたちのためになっていると実感しました。それから、今日のお話を聞いていると様々な地域学校協働活動につながっていく見通しが立てられていたのではないかと思います。ぜひ、このコミュニティ・スクール協議会を活用して、地域と共に子どもたちを育てていってほしいと思います。アンケートですが、机上に配布させていただいております。この後お時間があれば御記入いただきまして、私の方に御提出いただければと思います。また、裏面を見ていただきますと、QRコードをお示しさせていただいております。読み取って御回答いただいてもかまいません。よろしくお祈いします。冒頭、中嶋会長からもございましたが、アンケートの項目の中の3番、教職員の任用について提案や意見を述べる機会があります。コミュニティ・スクールの機能としてはこういった機能もあるのですが、そこまでの話には至っていないと思います。ですが、機能としてはございますので、アンケートの項目としては載せさせていただきました。以上になります。

中嶋会長 : アンケートは事務局の方に御提出ください。では金子教頭先生から来年度のコミュニティ・スクール協議会の進め方についてお祈いします。

金子教頭 : 1年間ありがとうございました。来年度2年目に入ります。ようやく一歩がスタートできたかなという感覚です。コミュニティ・スクール自体が軌道に乗るまでには、まだまだ壁がたくさんあって、乗り越えていかなくてはいけないと実感しております。コミュニティ・スクールに関しましては、委員さんの選出は1年ごとになりますので、後日、私の方から委員さんの方へ御連絡させていただきます。その際に今年度の感想や御意見等をいただきまして、次年度に向けて快く引き受けていただければと思っております。よろしくお祈いします。来年度の日程に関しましては、5月8日と11月12日と2月13日を予定しています。また詳しく決まりましたら、御連絡したいと思います。本当に1年間ありがとうございました。

中嶋会長 : 最後に生涯学習推進課の方から代表して酒井指導員お祈いします。

酒井指導員 : 1年間お世話になりました。去年の推進会議から引き続いての実質2年目ということですが、本当に皆さんが子どもたちのため、

あるいは地域のために熱心に御発言くださったり、いろいろなアイデアを出していただいたり、非常にありがたく思っています。最初に中嶋会長からお話があったかと思いますが、この目的は地域の子どもたちを学校・家庭・地域みんなで育てていきましょう、見守っていきましょうというための話合いなので、それに向けた話合いが活発にできてありがたく思っています。来週、教職員を対象とした研修会があって、その際には金子教頭先生から荃崎学園の事例を発表していただきます。他の学校の先生方にもこの荃崎地区の取組を知ってもらえる機会ということで、楽しみにしています。また、3月には委員の皆様様の研修会、情報交換会もあり、そこでも発表があります。来年度もよろしくお願ひします。

中嶋会長 : ありがとうございます。

7 閉会

中嶋会長 : 本日の「協議」の内容は、以上になります。

なお、本日の会議の様子を、教育委員会のHPにて写真掲載を予定しています。委員の皆様、よろしいでしょうか。本会議の始めにお伝えしましたが、写真の公開について、差し障りのある場合は事務局へ申し出てください。以上で第3回荃崎学園コミュニティ・スクール協議会を閉じたいと思います。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。